○中井猛之進教授ノ還曆記念出版物ヲ紹介ス　(前川文夫)

前東京帝國大學教授理學博士中井猛之進先生ノ植物分類學上ニ築カレタ大キナ功績ニ就テハ今更コヽニ繰返ス必要モナイ位デアル。昨年ノ秋先生ガ還曆ヲ迎ヘラレタノヲ祝シテ中井博士功績記念事業會ガ結成サレ、ソノ主ナ事業ノ一ツニ、先生ノコノ功績ノ具體的ノ示現トシテ著作論文目錄ノ編纂ニ著手シタノハマコトニ時宜ヲ得タモノデアツタ。爾來先生ノ薫陶ヲ受ケタ若イ分類學者ガ主トシテ分擔シテ仕事ハ進メラレ本年7月ニ入ツテ完成出版サレタ。題シテ

中井教授著作論文目錄並に教授の研究發表による植物新群名新植物名及新學名總索引附錄自大正十五年至昭和十六年東京帝國大學理學部植物學教室に於て講義せられたる植物系統分類上の新意見摘要; [Ordines, familiæ, tribi, genera, sectiones, species, varietates, formæ et combinationes novæ a Prof. NAKAI-TAKENOSIN adhuc ut novis edita. Appendix: Quæstiones characterium naturalium plantarum vel extractus ex prælectionibus pro aluminis botanicis Universitatis Imperialis Tokyoensis per annos 1926–1941; pp. 256. Tokyo. (1943. Jul.)]

大キサハ A5判 256頁、ヘラルド社ノ印刷ハ美シイシ卵色コツトン紙ハ物資ガ窮屈ノ折柄ニモカヽハラズ堂々タルモノデ學術上ノ良書ニ申分ナク、先生ノ記念出版物トシテ眞ニ愧シクナイモノデアツタ。手ニ取ツテ見テソノ內容ノ量トイヒ質トイヒマコトニ先生ノ精力的、徹底的ナ業績ニハ今更感ジ入ル許リデアル。論文ハ專門ニ亘ルモノダケデ大小和歐コメテ 600 ニ垂ントシ、科、目等ノ大群ノ新ラシイ設定ハ 100 ヲ越エテ居ル。屬種並ビニソレ以下ノ小群ノ新定ハソノ目錄ダケデ160 頁ニ達シ東亜ニ産スル屬ハ殆ンド出テ來ル。實際ニハコノ外ニコレニ數倍スル植物ノ群ガ先生ノ新ラシイ見解ノ下ニ整理サレテ居ルノデアルガ學名トシテノ形態ニ變更ヲ要シナカツタモノハ本書ニハ除外サレタカラシテ、東亜ノ植物ハ殆ンド全部先生ノ手デ一度ハ検討ガ加ヘラレタト云ツテモ過言デハナイ。コレラノ新學名ハ ABC 順ニ列擧シテ一々出典ヲ嚴格ニ附記シテ有ルノデ檢出ニ便宜ガ多イ。コレニツヾイテ附錄ガ 60 頁程アル。私ハ本書ノ面目ハ實ハ本文ヨリモ寧ロコノ附錄ニアルト思フ位デアル。ソレハ表題ニモアル通リ東大ノ植物學教室デ講義サレタ新ラシイ分類ノ體系ノ內デマダ外ニ發表サレナカツタモノヲ一括シテ述ベラレテアルカラデアル。夫々大キナ群ヲ主トシコレニ拉丁語ノ記載ヲ添ヘ、更ニ檢索表ヲ附ジテコノ中ノ新ラシイ細分ヲ詳述シテアル。ソノ主ナモノヲ擧ゲテ見ルト先ヅ苔類ノ *Jungelmanniales* ノ分類デ下ニ 15 ノ新科ヲ設立シタ。次ハ化石羊歯植物ニ關スル見解デ *Asterocalamitales*, *Calamitales* 以下10 目 24 科ノ新定ニヨツテ改善ヲ加ヘタ。從來ノ裸子植物ナル一群ヲ廢シテ三大別シ各〻ヲ羊歯植物並ビニ被子植物ト同一ノ高サニ置イタ。即チ*Embryophyta Zoidiogama* (いてふそてつノ類), *Embryophyta Haplogama* (從來ノ松柏類), *Embryophyta Paraduplogama* (まおう、うえるういつちあノ類)トシタノハ劃期的デアル。*Bennettitales* 及そてつ目 (*Cycadales*) ノ細カイ檢索表ヲ與ヘ次デとちかゞみ目 (*Hydrocaritales*), あまも目 (*Zosterales*), おもだか目 (*Alismatales*) 等單子葉類中ノ沼生類等ニ一括

サレテ居タモノヲ再檢討シテ夫々多クノ改廢ヲ行ツテ數目ヲ設立シ、天南星科カラせきしやう科 (*Acoraceae*) ヲ獨立セシメテソノ詳細ナ細分ヲ述ベタ。ソノ他いね目 (*Poales*, 5 科ニ分カツ), いね科 (*Poaceae*, 6 族ニ分カツ), ゆり目 (*Liliales*, 28 科ニ分カツ), ひがんばな科 (*Leucojaceae*, 14 族トスル), たしろいも目 (*Taccales*), いちはつ目 (*Ixidales*), かばのき目 (*Betulales*, 2 科アリ), まつも目 (*Ceratophyllales*), ひつじぐさ目 (*Nymphœales*, 4 科), めぎ科 (*Berberidaceae*, 7 亞科), けし目 (*Papaverales*, 3 科), なたね目 (*Brassicales*, 3 科), いしもちさう目 (*Droserales*), *Bruniales*, あぢさゐ目 (*Hydrangeales*, 8 科), うめばちさう目 (*Parnassiales*), べんけいさう目 (*Crassulales*), まんさく目 (*Hamamellidales*, 5 科), すゞかけのき目 (*Platanales*, 1 科), ばら目 (*Rosales*, 8 科), ばら科 (*Rosaceae*, 7 亞科), まめ目 (*Fabales*, 5 科), ねむのき科 (*Mimosaceae*, 8 族), けつめい科 (*Cassiaceae*, 35 族) 等々ヲ新定或ハ改定シ、檢索表デ夫々ノ隷下ノ新科、新族等ヲ記載シタモノデ、一般的ニ見テ從來ソノ包含スル處ガ大キク且ツ雜多デアツタモノヲ細カク純粹ナモノニ是正シタト思ハレル。兎ニ角少ナイ頁ノ中ニ豐富ナ內容ガ極度ニ壓縮シテ盛ラレテアリ、翫味スルニツレテ滋味ノイヨイヨ溢レ出ルノヲ覺エル。分類學ニ關係ノアル方々ハ御持チニナツテヨイ本デアル。500 部限定出版デ功績記念事業會デ關係方面ニ配布シタモノデアルガ發行所ノ北隆館ニハ猶ホ殘部ガアリオ頒チ出來ル由ニ聞イタ。

○昆蟲ト植物 2 件　(前川文夫)

くちなしハ盛夏開花ノ頃ニモ芽ガ伸ビルガ極ク若イ芽デハ葉ノ先端ニ黃綠色ノ南京玉位ノ丸イ樹脂樣物質ヲヨク分泌シテ居ル。コノ頃ニハ又おほすかしばガ花ノ香リヲ尋ネテハ產卵ニ來ル。卵ハ少數ガ若葉ヤ若芽ノ表ニ散ラバツテ產ミツケラレルガ、ソノ形、色澤、大キサ共前記ノ分泌物ト見マガフ位ニ似テ居ルノハ偶然トシテモ顯著ナモノデアル。

まうせんごけノ葉ガ昆蟲ヲ捕ヘルコトハ常識ダガ、大型ノモノハ捕ヘズ、大キサハセイゼイ蠅位デアツタヤウデアル。近頃發行ノ塚本閤治氏: 奧日光ヲ見ルト鬼怒沼ノ濕原デハもうせんごけガ蜻蛉ヲ捕ヘテ、タメニ赤ク見エル位ダト書イテアル。寫眞モ入ツテ居ル。記事ヲ擔當サレタ矢島市郎氏ニ日光デ御會ヒシタ時ニ伺ツタ處デハ同處デハヨク見ラレル現象ダサウデアル。日光湯元ノ鷄ハ飛ビ上ツテ赤蜻蛉ヲ喰フ由デアルカライササカ力ノ弱イ種類カモ知レナイガソレニシテモ大キナモノガカヽルモノデアル。

○日本產れんりさう類　(原　寛)

れんりさうハえぞのれんりさう類 (廣義ノ *Lathyrus palustris* L.) カラ別種トシテ區別スル方ガヨイ。えぞのれんりさう類ハ全株殆ド無毛又ハ軟毛ヲ有シ、小葉ハ 1-4 對デ線形乃至楕圓形、托葉ハ半箭形、卷鬚ハ通常 2-3 岐シ、萼裂片ハ長銳頭ヲナスガ、れんりさうハ嫩部ハ莖葉共ニ伏毛ヲ密生シ、莖ハ稍直立、小葉ハ 1-3 對、常ニ狹長デ線形又ハ披針形、兩端ニ向ヒ細マリ、長サ 3-10 cm 幅 4-10 mm、小葉ノ側脈ハ一層顯著デ各側 2 本ヅツ小葉下部ヨリ略平行シテ先端ニ迄達シ、托葉ハ常ニ狹長、裂片ハ狹披針形デ針狀ニ尖リ幅